五行歌の会	きんきサロン通信５月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.024　2024.05.14

上賀茂神社の競べ馬　荘観です！

５月の京都のお祭りとして雅なものはいろいろありますが、勇壮さ、スピード感では、下記の三つの催しが出色でありましょう。

まず上賀茂神社の「競べ馬」(５月５日)。歌会当日開催されていました。古代競馬とも言えそうな、２頭の馬を走らせて速さを競い合う神事。『徒然草』に記載があります。また、一くらべ馬遅れし一騎あはれなり一（正岡子規)、という句もあります。

下賀茂神社の「流鏑馬」（５月２日)。疾走する馬上から、騎手が的に向って矢を射る、外国人観光客も拍手大喝采の‘サムライ’神事。

藤森神社の「駈馬」（５月５日)。これはサーカスのような曲乗りが披露される、ハラハラドキドキの神事。この神社は競馬の神様としても有名です。実は、私はまだ一度もこれらの実走を見たことがありません。来年は是非見学したいものだと思っています。

今回の１席は、ツバメの巣を優しい眼差しで描いた平村幸子さん。２席は三カ月連続好調キープの黒田節子さん、上賀茂神社の競べ馬練習風景遭遇での歌、お馬さんの話しで盛り上がりました。３席は２首で、桜の花びらをシャワーに見立てた二宮信子さん、能登地震をモチーフにされた桑本明枝さんでした。編集長も後記で書いてくれていますが､5 年ぶりとなる「七夕歌会」の準備も着々と進んでおります。お楽しみに！　（いぶ記）

【306 回きんきサロン歌会結果】

１
風に
乱れる髪が
散る花びらの
シャワーを
浴びている
二宮信子 ８点 同三席

２
あなたと
再会できたから
懐かしいこの
一枚の写真で
笑顔になれる
西村康則　＊

３
ほんとごぶさた
げんきそうやね
そうなんや
またいっしょにやれると
え〜なぁ
小倉はじめ　＊

4
賀茂競馬の練習に
遭遇
毛艶の良さ
尾も長く
隆々と揺れている
　　黒田節子 10 点 二席
5
無人の野菜売場
ネギの隣に
カラーの花
小銭あるだけ
チャリンチャリーン
　　玉虫 6 点
6
木と森に守られて
激震の中この村では
一棟も倒れた家はないと
限界集落に移住した友人夫妻から
メール届く　僕らの夢は実現したと
　　桑本明枝 8 点 同三席
7
色付きはじめた紫陽花
すぐそばの葉に
ちょこんと
てんとう虫
花見の席どりか
　　いぶやん 7 点 次点
8
帰りの新幹線
何年振りだろう
空の富士山
新鮮
一瞬の絵
　HIKARIKO 4 点
9
改札近くの椅子に
使用禁止の張り紙
ツバメの巣あり
暫く椅子は
使えない
平村幸子 12 点 一席

■（参加者：8 名）いぶやん・小倉はじめ・黒田節子・桑本明枝・玉虫・西村康則・HIKARIKO・平村幸子（歌のみ）二宮信子。「＊」印は 3 点以下、点数非開示。
■6 月例会：6 月 2 日㈰　ウイングス京都
2 階第二会議室　午後 1 時開場。
（注）6 月に予定していました富久屋さんでの昼食会は 9 月に延期となりました。

■7 月例会 びわこ湖畔 七夕歌会復活です！

紫式部の
筆はしる
源氏物語
誕生の地
大津

　編集長在住の大津は、大河ドラマ「光る君へ」で話題の源氏物語を執筆した場所、石山寺などゆかりの場所も多い。また今年の本屋大賞「成瀬は天下を取りにいく」もめっちゃ大津・滋賀愛たっぷりで、大津市長・滋賀県知事など大喜びで現地では大変盛り上がっております。
　我が「きんきサロン」は昨日今日ではない筋金入りの滋賀愛です。1998 年から、暑い夏は、都を離れ、避暑まがいに琵琶湖畔を訪れていました。そんな事で、コロナ禍で中止となっていた琵琶湖畔での七夕歌会を 5 年ぶりに復活させる事になりました。石山寺近くにお住まいの西村さんが着々と準備してくれています。ガイド付石山寺参拝、しじみ汁、瀬田唐橋付近での歌会、楽しみですね。
　実は 2008 年七夕歌会、三好副主宰入洛で翌日、石山寺にも行きました。この懐かしい写真も入れておきます。　　（はじめ記）